佐賀県立視覚障害者情報・交流センター
令和４年度　事業実績報告書

自：令和４年４月１日
至：令和５年３月３１日

令和４年度　佐賀県立視覚障害者情報・交流センター　事業実績報告書

１．基本方針

昭和４７年の開館以来、当センターは、県下唯一の視覚障害者の情報提供施設として、福祉・文化活動の拠点として重要な役割を果たしてきました。

建物の建て替え及びリニューアルオープンに伴い、新たな業務の増加に対応するべく職員を増員、展示用の日常生活用具等、備品や設備の充実にも力を入れてきました。読書バリアフリー法の施行により拡大した利用対象者の利用を促すべく、イベント開催や啓発活動を積極的に行うなど開館以来の伝統を引き継ぐとともに新たな方向性をめざし、利用者である県下の視覚障害者に対するサービスの向上に努めてきました。

２．利用者サービス

利用者から高い評価と信頼を受けている巡回貸出制度については、コースの統廃合などで効率化を図りました。施設のＰＲと交流を目的とした「あいさが　あすなろフェスタ」を開催し、視覚障害者だけでなく事業者や一般の方々にも大勢参加していただきました。

利用者はもとより、視覚障害以外の理由による利用対象者や関係者からの相談も増加しており、就労や育児、余暇についてなど読書以外の相談にも対応したほか、スマートフォンなどのＩＣＴに関する相談にも多く対応しました。デジタル情報の入手活用手段は変化し続けており、その変化に対応できない方やアナログでの情報を必要とする利用者もいることを認識し、今後もサポートを継続していく必要があります。

図書の製作数はここ数年の傾向として、去年より点訳、音訳ともに増加しています。

３．職員の資質

リニューアルオープンに伴い相談支援の職員を一名、貸出及び情報支援の職員一名を新たに配置し、利用者のニーズに対応してきました。こうした職員の資質の向上を図るため、オンラインを中心とした研修会等に積極的に参加してきました。更に、毎週のミーティングにおいて利用者からのニーズについて情報伝達・情報交換を行なう等、サービスの質の向上や課題解決に努めました。

４．地域との関係

施設の周知及び啓発、利用者との交流を目的とした「あいさが　あすなろフェスタ」を開催し、地域の方を含む延べ１５７名に来場していただきました。その他、近くの方や盲学校からの見学の随時受け入れ、要請に応じた点字器の貸し出しなどを行い、地域との関わりを積極的に持ってきました。

【業務の概要】

Ｉ．センターの運営に関する業務

１．　点字刊行物及び録音図書（ＣＤ図書）の製作及び刊行並びに受入

（１）点訳図書・音訳図書の製作及び整備、受入れ

	点 訳 図 書	ＣＤ 図 書	ＭＭＤ・ＴＤ
自館製作	９２タイトル・３０７巻	６９タイトル・枚	０タイトル・枚
厚生労働省委託	３４タイトル・７６巻	２０タイトル・枚	９タイトル・枚
購入・寄贈	２タイトル・２巻	８タイトル・枚	０タイトル・枚
合　計	１２８タイトル・３８５巻	９７タイトル・枚	９タイトル・枚

※ＭＭＤ・ＴＤ…マルチメディアデイジー・テキストデイジー

（２）「県民だより」等の音訳版製作（提案型事業）

① 県民だより：７０部１２回

② 県議会だより：７０部４回

③ 障害者ハンドブック：２００部

（３）「ＪＢニュース」点字版製作及び配信（提案型事業）

年間２４０回　毎回２７部を製作・送付、毎回７ヶ所に配信

（４）幼小児向けの図書（触る絵本、布絵本）の整備、展示

点字付き絵本及び触る絵本の展示

（５）電子書籍貸出サービスの整備

貸出用読書端末の購入（タブレット５台　小型読書器１２台）貸出件数：２件

２．点字図書等に関する各種サービスの提供

（１）広報誌「センター通信」の発行（年６回）

点字版３９７部、　音声版９６７部

（２）レファレンスサービス（図書の検索・紹介、資料の提供等）

年間受付　５０９件（図書：３６２件、ＩＴ：５３件、その他：９４件）

（３）プライベートサービス（視覚障がい者が必要とする資料の点字化・録音化、その他）

点訳　２４件、音訳　９件、その他拡大コピー　１件

（４）対面朗読サービス（視覚障がい者が必要とする資料の対面読み上げ）５件

３．情報通信技術に対する対応支援

（１）デイジー再生機の取扱い説明、機器の貸出し

プレクストークの貸出し及び貸出時等の取扱い説明（２５件）

（２）情報通信技術に関する活用体験会の開催及び相談援助（１１４回）

（３）視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の利用説明及び登録利用の支援（６名）

４．日常生活用具等の利用促進

センターの備品として新たに日常生活用具、補装具や便利グッズを購入し、館内で展示コーナーを設置しました。見学や相談に対応して説明や実演、事業者の紹介など使い方や給付申請の支援、目録を作成するなどして情報提供を行いました。

５．点訳奉仕者及び音訳奉仕者の養成研修の実施

（１）点訳奉仕者の養成講習会（年２４回　参加者のべ９０名　修了者　４名）

（２）音訳奉仕者の養成講習会（年２４回　参加者のべ２９９名　修了者　１３名）

（３）点訳・音訳奉仕員の認証（点訳５名、音訳４名）

（４）点訳・音訳奉仕者の研修及び活動の支援

① ボランティアがグループで定期的な研修を行っており、職員はその活動の支援を行なったり、ボランティアからの個別の相談等にも随時対応している。

点訳･･･　花水木の会（第２火曜日）
対面校正（毎週火曜日・金曜日）

音訳･･･　くすのきの会（第１・第３木曜日）
なりゆきの会（第２木曜日）
ひまわりの会（第４木曜日）

② あいさが点訳音訳友の会の研修及び活動の支援

音訳…　ＮＨＫ主催のオンライン講習会の実施（全４回　参加者のべ３７名）

６．交流・啓発事業

４月に利用者に向けて施設の見学会を開催したほか、交流スペースや研修室を活用し、利用者を対象とした「サロン」を毎月開催しました。防災や盲導犬についての講座や、ゆび編みやオカリナなどの体験、また交流を主目的とした茶話会、点訳音訳ボランティアとの懇談会などの内容で、利用者から好評をいただきました。１１月には「あいさが　あすなろフェスタ」を開催し、点字体験、就労継続支援事業所の販売ブースの設置、３Ｄモデルの展示及び体験講座、オカリナ演奏、県内事業者による日常生活用具等の展示相談、スマートホーム体験相談などを行いました。参加者はのべ１５７名となり、利用者や家族、関係者のほか一般の方々や地域の方々も多数来場されました。また啓発用に利用案内パンフレットを２６００部作成、印刷し配布しました。

７．相談支援事業

新たに相談支援担当の職員を一名配置したほか、業務の一部をたかだ電動機株式会社に委託し、相談等に対応する職員を最大４名派遣されています。来館や電話などの相談に随時対応しており、相談内容は障害のことや学習、就労、ＩＣＴ等多岐にわたります。当事者のみならず、家族や支援者からの相談にも対応しています。支援についてのチラシを作成配布したり、広報誌センター通信に相談窓口からのお知らせを掲載するなどして情報提供を行っています。また、スマートサイト研修会を年間２回（１０月、３月）開催しました。当事者団体、医療機関、行政機関、事業者、県立図書館、支援団体などに参加いただき、情報収集、情報共有の有意義な機会となりました。

８．ＩＣＴ等を活用したコミュニケーション支援

情報のデジタル化やスマートフォンの普及に伴い、ＩＣＴに関する相談や質問は増加の一途を辿っております。センターでも相談支援担当を始めとした職員が電話及び来館でのＩＣＴに関する相談に随時対応しました。ほかにタブレットや最新機種のスマートフォン、携帯用小型読書器を購入・展示し、利用者や関係者が端末に触ったり体験ができるような環境を整備しました。

また、サロンでＩＣＴの活用・体験をテーマとした講座を開催しました。１３名の方に参加いただき、好評をいただきました。

９．利用拡大プロジェクト

新たな利用対象者等へ向けて音声版の利用案内を作成し、ホームページに掲載しました。また、社会福祉協議会や支援センター、眼科医会、民生委員団体などに啓発活動を行うことで、センターのサービスの周知を図りました。公立図書館へも啓発を行ったほか、佐賀県主催の司書のつどいに参加し、連携と情報交換を図りました。

１０．その他の事業

センターホームページをリニューアル更新したほか、情報の掲載や更新頻度を上げることで利用者への情報発信及びボランティアへの情報発信を行いました。また、防災グッズの展示のほか、視覚障害者等へ向け防災をテーマとしたサロンを開催するなどして、災害に関する情報支援を行いました。

１１．たかだ電動機株式会社へ委託する業務

（1）補装具・日常生活用具等の給付申請の支援

「補装具・日常生活用具」の相談者（６８名）には、センター内に展示している物品に関しては実際に使用いただき、購入先や購入時の金額をお伝えしました。申請する希望のある方には、メガネのヨネザワや日本点字図書館等、指定販売業者を紹介し、自分で連絡するのが難しい方には連絡の代行を行いました。

（2）日常生活用具等の情報提供・使い方の支援

展示用の日常生活用具等の選定及び購入　９７個（内訳：白杖７、眼鏡６、ルーペ１３、音声機器１２、ICT 機器２、文書読み上げレコーダー１、ロービジョン筆記用具１２、音声・触知式時計９、日用品５、おもちゃ・絵本１０、調理器具７、防災関連３、マルチメディアデイジー２、その他（車椅子等）８)。

用具の目録及びデータカード（用具の説明・購入先・購入金額等）の作成

（3）交流・啓発イベントの開催

（4）交流スペース等を活用した利用者及び関係者の交流支援

交流啓発サロンの開催　（年１０回　参加者のべ１２４名）

「あいさが　あすなろフェスタ」の企画開催　１１月３日　参加者のべ１５７名

参加団体：さがすたいる、あいさが音訳点訳友の会、メガネのヨネザワ、システムギアビジョン、株式会社シグマ、鶴見大学、佐賀農業高校オカリナ部、佐賀県立盲学校、B型事業所 ohana、A型事業所ボルガ（順不同）

スマートサイト研修会の開催

第一回　１０月２５日（火）　参加者３６名

第二回　　３月１１日（土）　参加者１６名

（５）相談対応補助

相談支援対応　のべ１，３６３名

（１）対応方法

来館２３９件、電話１，０５１件、訪問５件、メール６８件

※「訪問」は巡回貸出に相談支援員が同行して対応

（２）相談者について

相談者の属性：視覚障害等当事者８７９件、家族４７件、行政機関６５件、福祉・介護等支援機関３３７件、その他３５件

障害種別：視覚障害９５８件、身体障害１件、療育１件、発達２件、手帳なし１件

年代：１０歳未満５件、１０代１６件、２０代２件、３０代１４件、４０代４２件、５０代１７５件、６０代２４５件、７０代１６７件、８０歳以上３０件

性別：男性４２５件、女性５６８件

（３）相談内容

補装具・日常生活用具６８件、視覚リハ（訓練事業への相談）９６４件、仕事１３件、余暇５件、ＩＣＴ１００件、生活情報１３２件、サービス利用・制度１６件、健康・病院１件、園・学校２０件、子育て・育児３件、不安・気持ちの整理２５件、その他１６件

（４）相談経路

機関からの紹介５７件、知人からの紹介８件、チラシ８件、メディア広報６件、その他３０件（具体的な紹介元：あいさが関係者より２５件、開所記念のラジオ等５件、「知人からの紹介」１７件、病院からの紹介２件、盲学校５件、行政等機関６件、公共図書館２件、その他２件等）

（５）連携先　のべ１５３件（内訳：支援施設関係１２７件、病院関係１０件、行政関係１２件、交通機関関係４件）

（６）相談時間帯

午前２０５件　午後１７０件　時間外２件

（６）支援に必要な情報の収集及び関係者間の情報共有ネットワークの形成

（７）関係機関を通じて利用対象者へセンターのサービス等をＰＲ

令和４年度は、啓発として２０３か所へ訪問して啓発活動を行いました。（内訳：相談支援機関１８件、病院関係５７件、特別支援学校１１件、あいさが近隣小中学校２件、自立支援協議会５件、医療・福祉・雇用関係機関７件、社会福祉協議会２１件、市町役場２３件、障害者就業・生活支援センター４件、ハローワーク１０件、公共図書館２２件、その他３３件）

（８）ＩＣＴ等の活用をテーマとした講座の開催

支援者向けの研修１回とサロン内での当事者向けiPhone 基礎講座を開催しました。

支援者向け講座は、　特定非営利活動法人　視覚障害者パソコンアシストネットワークＳＰＡＮ（スパン）より外部講師を迎え、ゆめくれよん+や盲学校より計11名の受講があった。インストラクターとしての留意点、PCのアクセシビリティー設定、PC-Talkerの設定、JAWS・NVDA・ナレーターの紹介、VoicePopperの操作(メール、ニュース閲覧)、Outlook・NetReaderの操作、GoogleChromeの操作等について学習しました。

当事者向けiPhone基礎講座では、当事者や家族、支援者の13名の参加があり、自身のiPhoneを持参して操作練習された方や、まったく触ったことがない方にはセンターのiPadを貸出しして、ボイスオーバー操作の実演と練習を行いました。

（9）センターホームページの定期的な更新及びＳＮＳを活用した情報発信

ホームページにサロンの開催予定を載せるなどして、定期的な情報発信を行ったほか、センターホームページにリンクさせ、Facebook、Instagramを開設しました。

（１０）視覚障害者等へ災害時の行政サービス及び情報提供に対する支援

災害時の備えを進めるため、佐賀県防災士会に協力を依頼し、交流サロンで「水害時における自宅避難の方法、備蓄品と非常持ち出し品の違いとは、防災グッズの紹介・販売」を行いました。特に、断水時のトイレについての備えは興味深く、グッズの販売ではほとんどの方が購入されていました。

また、久留米市の心眼はーとあいず主催の、備えあいフェスタ（見えない、見えにくい人の視点からも考える防災講座）で、あいさがの防災サロンに関する発表を行いました。

Ⅱ．センターの利用に関する業務

１．　利用者の登録、サピエへの登録支援

利用登録者数：３８７名（3年度３７６名）、新規登録　１８名

サピエ登録者：１４４名（3年度１３８名）、新規登録　　４名

２．　図書の貸出・閲覧サービス

（1）　点訳図書・テープ図書・ＣＤ図書の貸出し（カッコ内は３年度）

単位：タイトル

	点訳図書	テープ図書	ＣＤ図書	MMD
巡　回	１８７（１５２）	１１（２２）	１，４８１（１，５９９）	0（0）
郵　送	７７７（１，０１３）	１２９（１１５）	９，８７２（１１，１０９）	64 (28)
館　内	１９（３１）	２２（0）	５４２（４８４）	0（0）
相互貸借	９５（１１９）	１５（１５）	１，００７（１，０１２）	0（0）
その他	８５（８５）	0（0）	0（0）	0（0）
合　計	１，１６３（１，４００）	１７７（１５２）	１２，９０２（１４，２０４）	64 (28)

※MMD…マルチメディアデイジー

（参考）令和４年度サピエ登録利用者のデータのダウンロード集計（カッコ内は３年度）

データ種別	実利用者数	のべ利用者数	ダウンロードタイトル数
点　字	３２人（27 人）	４，６０７人（3,743 人）	3,915 ﾀｲﾄﾙ（3,170 ﾀｲﾄﾙ）
デイジー	８６人（85 人）	３０，９６１人（26,661 人）	8,924 ﾀｲﾄﾙ（9,082 ﾀｲﾄﾙ）
	再生実利用者数	再生のべ利用者数	再生タイトル数
	４４人（39 人）	５，６４９人（4,020 人）	3,091 ﾀｲﾄﾙ（2,403 ﾀｲﾄﾙ）
MMD	９人（12 人）	７３人（33 人）	４２タイトル（18 ﾀｲﾄﾙ）

（２）巡回貸出サービス（カッコ内は３年度）

県下４地区に分け年間５２回　　　　　月平均　合計　３１人（３４人）／月

Ａコース：鹿島市、小城市、杵島郡、嬉野市、多久市方面　８人（８人）／月

Ｂコース：唐津市方面　　※５人（５人）／月

Ｃコース：佐賀市方面　１１人（１２人）／月

Ｄコース：伊万里市、西松浦郡、武雄市、杵島郡方面　４人（３人）／月

Ｅコース：その他　　　３人（６人）／月

※新型コロナウイルス感染症予防のため、福祉施設への巡回を郵送に変更

３．公共図書館との連携貸出サービス

公共図書館から貸出及び利用登録に関する相談　４件

公共図書館２２箇所に啓発活動

Ⅲ．センターの維持及び管理に関する業務

１．　施設及び備品等の維持及び修繕

２．　清掃業務：日常清掃

３．　委託業務

種　別	業務内容	業　　者	委託料
清掃業務	特別清掃（年１回） 床のワックスがけ 窓ガラス清掃	（有）オークス	104,500 円
	屋外の除草（年１回）	佐賀市 シルバー人材センター	22,265 円
警備業務	機械警備等による施設内の防火、防災、防犯対策	ＡＬＳＯＫ佐賀（株）	247,500 円

４．　事業計画及び事業報告書の作成

令和４年９月末日までに次年度事業計画書及び収支予算書を作成し県に提出。

事業年度終了後１ケ月以内に、事業報告書を作成し県に提出。

5．　防災訓練（１０月７日）：火災を想定した通報・避難訓練（参加者：職員５名、ボランティア１８名）
　　　　（２月７日）：大雨による浸水を想定した避難訓練（参加者：職員９名）

Ⅳ．センターの運営

1．　情報・交流センター運営委員会：運営委員会を２回開催し、意見交換を行いました。
　　第1回　令和４年９月１６日（金）　出席者９名
　　第2回　令和５年３月２４日（金）　出席者９名
2．　センターのつどい（１１月）：「あいさが　あすなろフェスタ」の名称で１１月３日に開催しました。点字図書や録音図書の紹介のほか、３Ｄ模型の展示及び講演、楽器演奏、県内事業者によるスマートホーム体験、日常生活用具の展示相談、就労継続施設の販売ブースなどがありました。（参加者のべ１５７名）
3．　利用者満足度に関するアンケート調査（１１月～１２月）
巡回貸出サービスにおける聞き取り調査、及び電話による聞き取り調査を１００名の利用者に対して実施し、その集計結果を「センター通信」２月号に添付して、利用者に提供しました。

4．　地域社会・学校等への広報・啓発（点訳・音訳の指導、見学受入れ）
４月２０日（水）・６月２８日（水）・７月１日（金）盲学校見学受入れ（のべ８名）
７月２２日（金）盲学校職員研修受け入れ（１名）
８月３日　（水）放課後デイサービスみらい見学受入れ（２０名）
８月１０日（水）巨勢地区民生委員見学受入れ（８名）
１０月６日（木）中原特別支援学校見学受入れ（１名）
１０月７日（金）みやき町民生委員見学受入れ（１８名）
１１月１３日（日）唐津特別支援学校見学受入れ（１名）

Ⅴ．各種研修会・大会等への参加

1．　全国視覚障害者情報提供施設協会新任管理者研修会（オンライン、６月）２名参加
2．　九州視覚障害者情報提供施設大会（オンライン、９月）４名参加
3．　全国視覚障害者情報提供施設大会（オンライン、１０月）４名参加
4．　音訳指導員養成講習会（オンライン、１１月）１名参加
5．　視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」研修会（オンライン、７月）４名参加
6．　九州視覚障害者情報提供施設協議会職員研修会（オンライン、１１月）２名参加
7．　スキルアップ研修（点訳・音訳に関する技術、情報通信技術等）
　　日盲社協　情報化対応支援者研修会（オンライン、１１月）２名参加

Ⅵ．その他

1．　視覚障がい者への施設の提供（佐賀県視覚連の会議及び社会参加推進事業、クラブ活動等）
2．　視覚障がい者支援組織・団体との連携

令和４年度事業に関する自己評価

令和４年度１１月から１２月に実施した利用者満足度調査の集計結果において、貸し出しサービス及び日頃の職員の対応の満足度は、それぞれ８０パーセントを越えており、日頃の職員の対応については、「満足」が９１．４パーセントと高い評価を得ることができた。一方、調査で寄せられた意見や要望については、個別具体的な対応も含めて、今後ともより一層の工夫を重ねていきたい。（別紙「令和４年度利用者アンケート集計表」参照）

今日、視覚障害者を取り巻く情報環境のデジタル化は更に加速しており、職員は新たな情報機器の操作についての情報収集や技術の習得に努めてきた。情報機器に関する利用者からの相談対応やアイフォンの操作など、利活用に対する支援を随時行っている。日常生活用具や補装具については積極的な購入、センターで常設展示を行い、利用者や関係者に体験や情報提供の機会を供した。

また、サピエ会員登録についての相談支援や手続き代行、新規の利用者にデイジー図書の専用再生機を貸し出すなどして、技術の進展に沿った支援を行ってきた。

事業の拡大に伴い、職員の増員、一部業務の委託による人員の派遣などを行い、オンライン開催が通例となった研修会や大会に参加するなどして職員の資質の向上を図った。利用者や支援者からの一千件超の相談対応のほか、１１月開催の「あいさが　あすなろフェスタ」では用具の販売代理店や就労継続事業所、ＩＣＴ事業者等に協力いただくことで、利用者だけではなく一般からも多数の来場者を得て、利用拡大や交流・啓発の大きな機会となった。

これらのほか月一回のテーマ別のサロンの開催、行政機関や支援機関への啓発を積極的に行い、来館者は前年度と比べ約５割増加した。

図書の貸出では、点字図書、ＣＤ図書は微減、テープ図書は館内貸出の増加などにより微増、マルチメディアデイジー図書は約２倍の増加であった。また、サピエ登録者は前年から４名増加し１４４名、インターネットを介しての点字データおよびデイジーデータのダウンロード数については、点字データの実利用者数が約ニ割の増加となった。

これらもふまえて、事業実績において、８０パーセント以上の自己評価を行うことが可能であると考える。

令和４年度は、佐賀県立点字図書館から佐賀県立視覚障害者情報・交流センターへ名称変更、リニューアルオープンだけでなく、業務の増加、職員の増員、新しいイベントの開催など大きな変革の年となった。巡回サービスの統廃合などもあったなか、新たに開催することとなった定期的なサロンや交流イベント等を通して利用者や関係者との交流を図り、また日々のリクエスト及び相談通して、様々なニーズに耳を傾けるなど利用者との緊密な関係を維持し深めてきた。今後とも、利用者の様々な意見や要望を反映しつつ利用者の満足度を上げながら、新たなニーズと時代に即応した情報提供施設を目指していきたい。

【 令和4年度　利用者アンケート集計表 】　（%は回答数による割合）

集計数 102 名

	質　問																	回答数	回答率
1	回答者の年齢	A　２０歳未満		B　２０歳代		C　３０歳代		D　４０歳代		E　５０歳代		F　６０歳代		G　７０歳代		H　８０歳以上		102	100%
		2	2.0%	1	1.0%	3	2.9%	5	4.9%	12	11.8%	19	18.6%	43	42.2%	17	16.7%		
2	センターの利用状況	A　利用している		B　登録のみで利用したことがない		C　以前利用していたが、最近利用していない												102	100%
		79	77%	8	8%	15	15%												
3-1	利用方法 （複数回答）	A 郵送貸出		B 巡回貸出		C 来館貸出		D インターネット										102	
		59	57.8%	31	30.4%	3	2.9%	9	8.8%										
3-2	利用図書（複数回答）	A　点字図書		B　音訳図書（カセット）		C　音訳図書（デイジー）												93	
		17	18%	2	2%	74	80%												
4	利用したことがない理由	A　自宅等からセンターが遠い		B　自身が望むサービスがない		C　その他												13	13%
		4	30.8%	0	0.0%	9	69.2%												
5	最近利用していない理由	A　ｻｰﾋﾞｽの使い勝手がよくない		B　自身が望むサービスがない		C　その他												13	13%
		0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%												
	質　問	A　満足		B　やや満足		C　やや不満		D　不満										回答数	回答率
6	貸出サービスについて	70	84.3%	11	13.3%	1	1.2%	1	1.2%									83	81%
7	図書館通信や九視情協新刊案内等について	61	82.4%	11	14.9%	1	1.4%	1	1.4%									74	73%
8	職員の対応について	85	91.4%	7	7.5%	1	1.1%	0	0.0%									93	91%
9	その他																	33	32%